

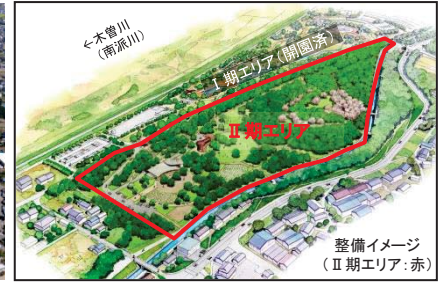
# 7. 国営公園整備事業（国営木曽三川公園）

## フラワーパーク江南

平成19年10月に開園

暮らしの中に花やみどりを取り入れ、身近な自然にふれる場となるよう、様々な生活場面に応じた緑化・花卉修景を進めており、藤棚、反射池、堆肥化施設、サイクリングロード等（Ⅰ期エリア）を整備し追加開園してきました。

今年度はⅡ期エリアの基盤整備・園路広場整備を継続して実施する予定です。



整備イメージ  
(Ⅱ期エリア:赤)

## かさだ広場・各務原アウトドアフィールド

かさだ広場

昭和63年7月に開園

各務原アウトドアフィールド

平成17年3月開園

河川特有の自然環境を保全・再生しながら、広大な空間と豊かな自然の中で健康づくりやレクリエーション、自然散歩などが楽しめる場となるよう、遊歩道・サイクリングロード等の整備を進めると共に、竹林や外来生物対策に取り組み河川環境の保全・再生に取り組んできました。

今年度も市民との協働による保全の推進を図ります。



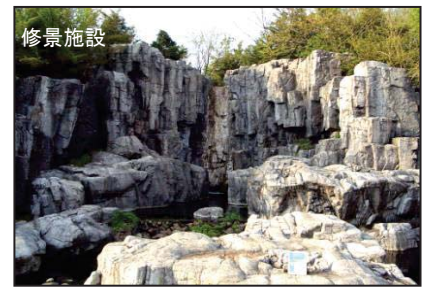
市民参加によるオオキンケイギク  
(特定外来生物)の抜き取り

## 河川環境楽園（木曽川水園）

平成11年7月に開園

国営公園（＝木曽川水園）、県営公園、中日本高速道路等からなる、川の自然と文化に関する環境共生型テーマパークです。木曽川水園は木曽川の情景や自然環境を再現しており、川の自然・文化を知り、水辺で遊び楽しめる場として整備し開園してきました。

今年度は老朽化した修景施設等の修繕を継続して実施する予定です。



修景施設

## 138タワーパーク

平成7年4月に開園

三派川地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人が集い、交流する総合拠点として位置づけています。大型遊具、自然体験施設、木づきの森等を整備・追加開園し、平成26年4月に全面開園しました。

今年度は老朽化した遊具施設の修繕を実施する予定です。



遊具施設(子どもの街)

## サリオパーク祖父江 (ワイルドネイチャープラザ)

平成8年8月に開園

木曽川特有の河岸砂丘である祖父江砂丘を活かし、ウィンドサーフィン等の水辺レクリエーションを楽しむためのトイレ・シャワールームや、バーベキューが楽しめるピクニック広場等を整備しています。

今年度もサンドフェスタ等、砂丘の利用促進を図ります。



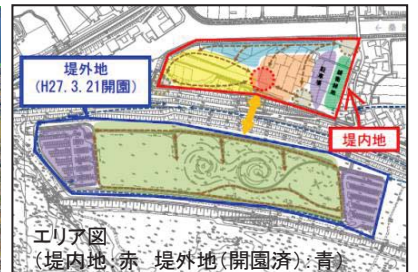
サンドフェスタ  
(砂の砂像展)

## 桜堤サブセンター・(仮称)木曽長良背割堤

平成27年3月堤外地（一部）開園

ワンドやオギ原、ヤナギ林など木曽長良背割堤に残る豊かな水辺環境の保全と、ケレップ水制や桜並木などの歴史遺産に触れられる場となることを目指し、平成19年に事業着手し、平成27年3月に堤外地の高水敷エリアを開園しました。

今年度は堤内地の整備に向けて用地買収を継続して実施する予定です。



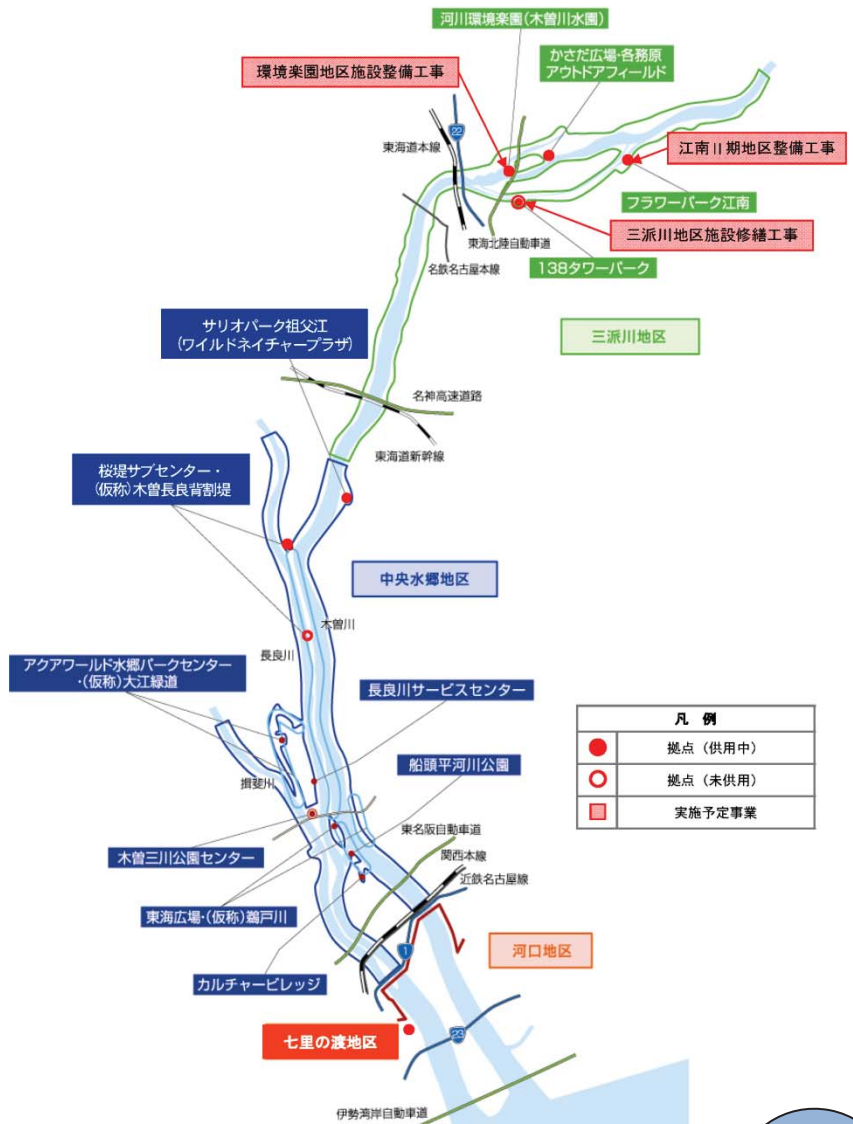
堤外地  
(H27.3.21開園)

堤内地

エリア図  
(堤内地:赤 堤外地(開園済):青)

# 平成28年度 事業予定箇所

(木曾川上流河川事務所管轄分)



# 入場者数の経年推移

